

マプト回廊投資会議

1. 投資会議の概要

モ国運輸通信省が主催するマプト回廊投資会議が、2015年10月29日に開催された。モ国では、「開発回廊」を確立して、政府及び民間の投資を促し、経済発展を促進することが戦略として位置づけられている。本投資会議では、ドナーが支援する空間開発プログラム（Spatial Development Program : SDP）を通して、マプト開発回廊（Maputo Development Corridor : CDM）におけるセクター分析を行い、投資機会を明らかにして評価することを目的としている。本会議は、(1)開会セッション、(2)経済財務面の投資環境セッション、(3)農業及びアグリビジネス・セッション、(4)インフラ・セッション、(5)観光セッションからなる。CDMでは、民間投資及びPPPでの実施が期待される7つのアンカー・プロジェクト（anchor projects）を選定している。

表1：マプト回廊投資会議にて選定されたアンカー・プロジェクト

	Name of Anchor Projects	Location	Investment	Financial Viability	Description
1	Fresh Produce Market	Moamba	USD 10.7 million	IRR 16.1% Payback period: 7 years and 10 months	Establishment of fresh produce market along the corridor
2	Fattening and Beef and By-Product Processing	Matutuine	USD 6.7 million	IRR 20% Payback period: 5 years and 6 months	Installation of a fattening and meat processing unit
3	Sugar plantation and vegetables	Moamba/ Magude	USD 200 million	IRR 14.3% Payback period: 7 years and 3 months	Production of sugar and vegetables in 12,000 ha
4	Macaneta Eco-tourism and Real Estate	Marracuene	USD 283 million	IRR 14.1% Payback period: 8 years and 1 month	Development of new urbanized area for recreation and real estate
5	Machangulo Eco-tourism and Real Estate	Matutuine	USD 110.7 million	IRR 13% Payback period: 9 years and 4 months	Development of eco-tourism close to Maputo Special Reserve
6	Construction of Movene dam with real estate area	Boane	USD 283.6 million	IRR 11% Payback period: 9 years and 8 months	Construction of dam to supply water to Maputo, Matola and Industrial Park, irrigation and residential area
7	Moamba Xinavane Toll Road	Moamba/ Magude	USD 143.8 million	IRR 13.3% Payback period: 14 years	Rehabilitation/construction of the road linking the N4 in Moamba to N1 in Xinavane, 104 km

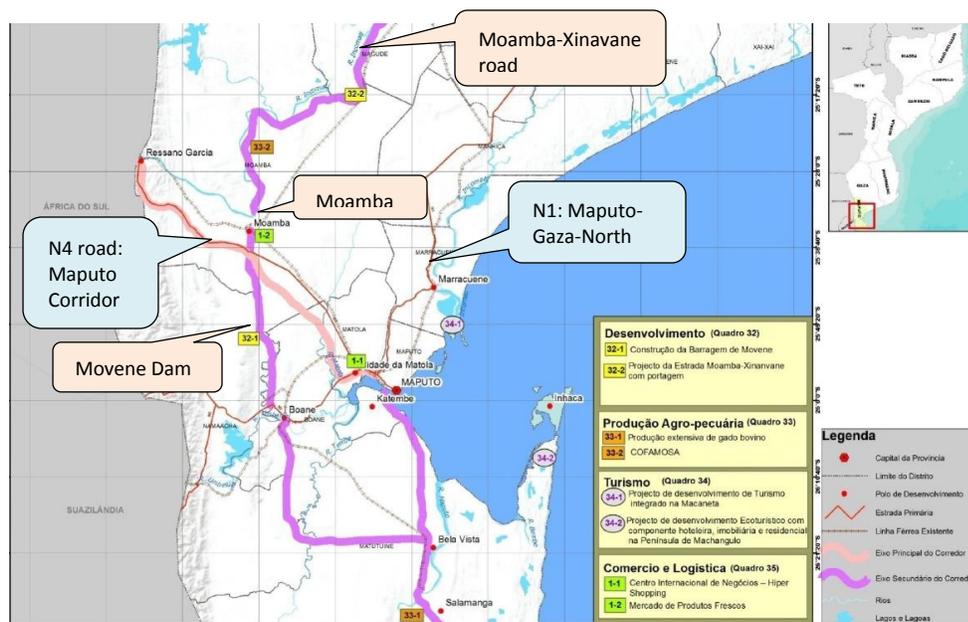
Source: Sector Analysis and Assessment of Investment Opportunities in the Maputo Development Corridor (CDM)

2. インフラセクター

インフラセクターのセッションでは、道路及び水セクターの2アンカー・プロジェクトが報告され、道路公団（ANE）、南部水管理公社（Ara Sul）、National Investment Bank（NIB）、DBSA、IFCの代表者がパネリストとして議論をした。

① Moamba-Xinavane Toll Road

本プロジェクトは、マプト回廊（N4）の Moamba と国道 1 号線（N1）の Xinavane を結ぶ全長 104 km のリハビリ・建設事業である。本プロジェクトの建設により、南アフリカとガザ州（及びその他の州）の旅程が約 100 km 短縮されることになるとともに、N1 と N4 の混雑が解消されることになる。現在、南アフリカからマプト州北部、ガザ州などの他州への運輸は、すべてマトラ市及びマプト市を經由しなければならず、マプト首都圏の交通渋滞を引き起こしている。Moamba-Xinavane 区間のリハビリ・建設事業は、マプト首都圏の混雑解消とマプト北部及び他州への物流を改善するとともに、N1 と N4 の接続時間・コストを短縮し、南アフリカからガザ州及びイニャンバネ州への観光客と物流の増加を促進することが期待されている。アンカー・プロジェクトとして提案されている Moamba の Fresh Produce Market は、Moamba 物流センターとして機能することが計画されており、本道路プロジェクトとの相乗効果が期待されている。本プロジェクトは、道路の拡張、橋梁のリハビリ、料金所の建設などが含まれており、総事業費は 143.8 百万ドルと見積もられている。プレ F/S の結果は、IRR13.3% であり、財務面で実現可能であると評価されており、PPP（Public private partnership）での実施が検討されている。

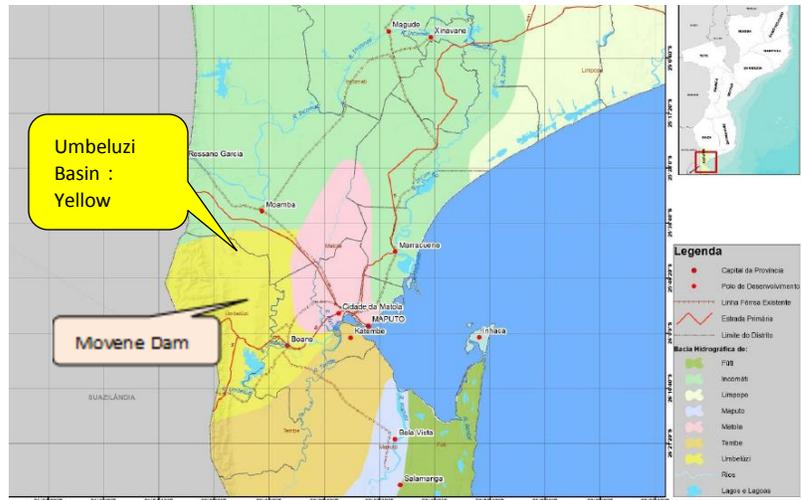


1：プロジェクト位置図

② Construction of Movene Dam with Real Estate

本プロジェクトは、Umbeluzi 川から取水して、多目的ダム（Movene dam）を建設して、マプト市、マトラ市、Beluluane Industrial Park へ水供給するものである。特に、Beluluane Industrial Park では、工業用水の不足が問題となっており、マプト首都圏の産業開発という観点からも重要なプロジェクトといえる。Movene dam は、2,800 ha の貯水池と 132,500m³/day の水供給能力を有し、飲料水及び工業用水に加えて、灌漑用水（3,500ha）の供給、340kW の設備能力をもつ小水力発電、洪水・旱魃対策等を目的としている。Movene dam ダムの両岸には、1,100ha の居住地を建設することが計画されており、約 1 万世帯が入居することが見込まれている。Umbeluzi 流域は、農業及び家畜のポテンシャルが高く、ダムを含めた観光地としても開発することが検討されている（下図参照）。

本プロジェクトの総事業費は、283.6 百万ドルである。プロジェクト収入は水道料金と不動産収入を仮定しており、プレ F/S の結果は IRR11%となっている。初期投資コストが比較的高いことから、財務面での事業実現性は低いものの、水不足である首都圏への水供給、灌漑を含めた地域開発、洪水・旱魃対策という経済便益が大きいことから、経済的に実現可能であると評価されている。そのため、政府によるダム建設資金の調達等の PPP 方式での事業の実施が検討されている。投資会議では、NIB が本プロジェクトへのファイナンスに前向きな発言をしている。



以上